

第5章
知の愉しみ
物語、歳時、祈り

日本美術において作品に内包される文学性は、切っても切れないものです。直接的な表現にしろ、鑑賞者に連想させることで成り立つ間接的な表現にしろ、文学的要素によってその情緒をも示し、人々を愉しませます。それは理解できる知識をもっていか、鑑賞者の教養を試す遊びでもあります。また、江戸時代は庶民の文化が発達し、作品やその担い手、受け手も広く大衆化しました。庶民の生活や風俗、年中行事、神仏への信仰といったものも多彩に描かれるようになりました。

初公開！
群馬ゆかりの浮世絵師
英山の美人図



菊川英山《美人図》
江戸時代 個人蔵 (通期)

又兵衛の逸品も！



岩佐又兵衛《小栗判官絵巻 巻十一上》(部分) 江戸時代 国(皇居三の丸尚蔵館収蔵) (通期) *場面替があります

明治以来、
悠久の時を超えた
愛らしい
光琳の小督



尾形光琳《小督図》
江戸時代 個人蔵 (通期)



群馬からみる

クワシヨンの粹

各地の逸品も
勢ぞろい！
明治以来
115年ぶりの紹介も

日本の美

戸方庵井上
コレクション
5つの扉

2024.
9/21 SAT →
11/10 SUN

前期 | 9月21日(土) → 10月20日(日)
後期 | 10月22日(火) → 11月10日(日)
*会期中、大幅な展示替えを行います。

群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA
〒370-1293 高崎市綿貫町992-1 Tel. 027-346-5560 Fax.027-346-4064
https://mmag.pref.gunma.jp/

開館50周年記念
群馬からみる日本の美

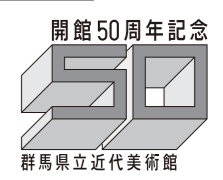
展覧会関連事業

- オープニングギャラリートーク | 展示室1 * 申込不要、要観覧料
9月21日(土) 午前10時30分-11時30分
講師：岡部昌幸(当館特別館長・帝京大学名誉教授)
- 記念講演会 午後2時-3時30分 | 2F講堂/定員各回100名 * 申込不要、参加無料
① 10月12日(土)
「戸方庵井上コレクションから広がる5つの世界」
講師：安村敏信氏(北斎館館長・静嘉堂文庫美術館館長)
② 10月26日(土)
「戸方庵井上コレクション・円山応挙《青鸚哥図》と異国趣味」
講師：樋口一貴氏(十文字学園女子大学教授・本展企画協力者)
③ 11月2日(土)
「柳橋水車図について」
講師：勝盛典子氏(元香雪美術館・中之島香雪美術館館長)
- 学芸員による作品解説会 | 展示室1 * 申込不要、要観覧料
9月25日(水)、10月30日(水) 午後2時-3時

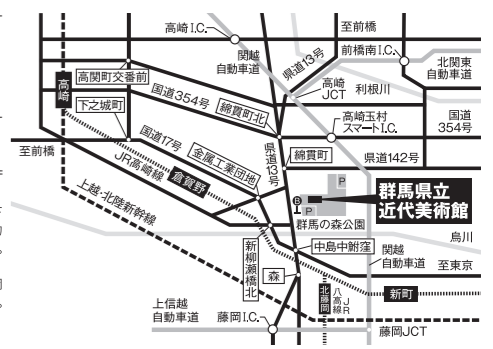
同時開催 コレクション展示(展示室7・山種記念館)
「戸方庵井上コレクションのすべてI」 9月21日(土)-10月14日(月・祝)
「戸方庵井上コレクションのすべてII」 10月16日(水)-11月10日(日)

群馬県立館林美術館のご案内 スペインの巨匠・ミロ 版画の宇宙 9月28日(土)-12月15日(日)

50周年記念事業



- 1 開館50周年を記念し、リピーター特典として特製ポストカードをプレゼント!
本展を複数回ご観覧いただくお客様に、感謝の気持ちを込めて所蔵品のポストカードをご用意しました。2回目以降のチケットの購入・引換時に本展の半券をお持ちください。
- 2 開館記念日(10/17)前後に様々なイベントを予定しています!
*詳細が決まり次第、HP等でお知らせします。



開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜日(10/28は群馬県民の日のため開館、祝日の場合は開館し翌日休館)
観覧料：一般1,000円(800円)、大高生500円(400円)
*()内は20名以上の団体割引料金 *中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 *群馬県民の日(10/28)に観覧の方は無料
主催：群馬県立近代美術館 助成：芸術文化振興基金

左：尾形光琳《小督図》(部分) 江戸時代 個人蔵(通期) 右：長谷川宗宅《柳橋水車図屏風》(部分) 桃山時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション(通期)

群馬からみる 日本の美

戸方庵井上コレクション5つの扉

群馬県の文化振興に広く貢献された高崎市の実業家、井上房一郎（1898-1993）は、美術館での公開を念頭に長年作品を蒐集し、昭和49（1974）年の群馬県立近代美術館開館に際して、国の重要文化財を含む日本・中国の美術作品をまとめて寄贈されました。このコレクションは、井上の号「戸方庵」にちなみ「戸方庵井上コレクション」と名づけられ、現在、所蔵品の重要な柱の一つとなっています。

本展は、南宋から清時代にかけての中国絵画や、日本の室町から桃山時代の水墨画、江戸時代の琳派、狩野派の作品、さらに肉筆浮世絵などといった戸方庵井上コレクションの特色ある作品を、奥深い日本美術の世界へ誘う扉に見立て、全国各地からお借りした名品の数々とともに、5つの章により約100点の絵画作品をご紹介します。開館50周年を記念した美の競演をおたのしみください。

第3章

華やぎの色とかたち

桃山から江戸時代の作品にみられる装飾性、デザイン性をとりあげます。特に屏風など大画面の作品では、時代性を反映した豪華さ、華やかさも感じられます。



長谷川宗宅《柳橋水車図屏風》 桃山時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション 群馬県指定重要文化財（通期）

大胆な趣向をたのしむ



長谷川等伯《四季花鳥図屏風》 桃山時代 個人蔵（後期）



第1章

中国への憧れと学び

日本に伝わり大切にされてきた中国の草虫画と、中国の院体画と呼ばれる写実的で精緻な画風を学び、影響を受けた雪村周継の彩色の花鳥画の作品をご紹介します。



重要文化財（前期）



《草虫図》 中国・元時代 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives

前期は草虫画の世界、後期は雪村の真摯な中国画学習を紹介



雪村周継《葛花、竹に蟹図》 室町時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）

第4章

画家の眼 対象へのまなざし

江戸時代には、中国や西洋諸国から新たな知識や見慣れない生き物の情報がより多く入ってきたことで、本草学や博物学、他学間が発展し、知的探究に人々の情熱が注がれました。絵画の分野でも、作品から作家や受容者の観察眼や知的好奇心が伝わってきます。写実性に加え、その先の性質や情感をも表現した作品をご覧ください。



司馬江漢《寒柳水禽図》 江戸時代 個人蔵（前期）



円山応挙《青鸚哥図》 明和7(1770)年 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）

画家それぞれの自然へのまなざし



伊藤若冲《菜蟲譜》(部分) 寛政2(1790)年頃 佐野市立吉澤記念美術館蔵 重要文化財（10/1～11/10展示） *場面替があります

宗達の国宝、見参!

第2章

墨の彩り

古くから「墨に五彩あり」と言われるように、墨の色、濃淡、潑墨、破墨、かすれ、にじみ、ぼかしといった描法が生み出す多彩な表現や、その繊細な美しさに焦点を当てます。



依屋宗達《蓮池水禽図》 江戸時代 京都国立博物館蔵 国宝（後期）

見事な墨色の世界へ



海北友松《漁村夕照図》 桃山時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）



海北友松《瀟湘夜雨図》 桃山時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）



海北友松《逸浦帰帆図》 桃山時代 個人蔵（前期）



海北友松《平沙落雁図》 桃山時代 個人蔵（前期）